

【山崎主宰の俳句】

春というのは

山崎 聰

しんじゆくで別れてからの雪の山  
みちのくはあまたふくろう哭くばかり  
雪の地蔵無垢無我無口にて若し  
残雪の若狭の山も昼餉どき  
東京はいまだ暗くて名残り雪  
この世いま真冬真夜中影法師  
春の老人かたまってひっぱって他人  
春というのは首が長くて顎やさし  
おぼろ夜のひとかたまりの金平糖  
春景色笑ってばかりいられない